

ステンレス防水

仕上用材

R-T工法（ステンレスシーム溶接工法） 三晃金属工業（株）

- 1) 耐候性に優れたステンレスのシートを、シーム溶接で連続溶接することで、確実な水密性を確保できます。
- 2) デザイン性豊かな屋根を構成するエレメントとして、我が国を代表する多くの建築に採用されています。
- 3) 日本建築学会標準仕様書JASS8になかのステンレスシート防水工事に分類され、標準化されています。

特長

- 1) 高いデザイン性の複雑な3次元曲面屋根にも対応できます。
- 2) ステンレスまたはチタンをシーム溶接で連続溶接して一体化するため、確かな防水性を確保できます。
- 3) ステンレスまたはチタンを使用するため、極めて高い耐久性を誇ります。

用途 屋上防水、屋根防水、ドーム屋根、多目的ホール、レジャー施設、広幅谷樋など

標準仕様

使用材料

金属規格による分類	屋根材使用鋼種
フェライト系ステンレス	U-20(SUS447J1相当)※・U-22(SUS445J2)・U-24(SUS445J1) NSS445M2 (SUS445J1)・NSSC220M (SUS445J2)
オーステナイト系ステンレス	SUS304・NSSC270 (SUS447J1相当) ※
チタン	JIS H4600 1種※

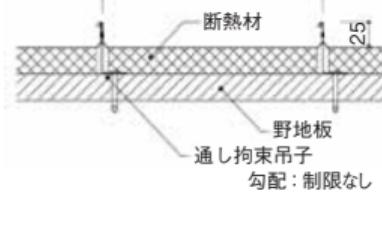
※特殊材につき、ご検討の際はご相談ください。

標準断面図

一般仕様



外断熱仕様



単位重量

働き幅 mm	板厚 mm	単位重量 kg/m ²	板幅 mm
448	0.4	3.46	500
281	0.4	3.68	333